

平成15年度事業報告

〔平成15年4月1日より
平成16年3月31日まで〕

1. 会員の異動

本年度中の入会並びに退会及び会員数は次のとおりである。

	名誉会員	正会員	外国人会員	学生会員	賛助会員	計
平成15.3.31現在	27	4,737	243	274	321	5,602
入会	0	197	39	120	4	360
退会	0	326	38	27	10	402
転格	3	91 (3)	1	0 (92)	0	95 (95)
死亡	1	5	0	1	0	7
平成16.3.31現在	29	4,691	245	274	315	5,554

2. 役員、顧問、評議員の現員

理事 24名(内、会長1名、副会長3名、常務理事6名)
 監事 3名
 評議員 92名

3. 評議員会及び総会

平成15年度評議員会、引き続き第36回通常総会を次のとおり開催した。

日時 平成15年5月16日 評議員会 午後2時より
 総会 午後3時より

場所 東京大学 山上会館

出席者数 評議員会 74名(委任状を含む)
 総会 2438名(委任状を含む)

議事または承認事項

1. 平成14年度事業報告について
2. 平成14年度収支計算書ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について
3. 平成15年度事業計画書(案)について
4. 平成15年度収支予算書(案)について
5. 中国四国支部設置について
6. 名誉会員の推薦について
7. 役員の一部改選について

4. 役員会

理事会 7回

5. 機関誌刊行

「都市計画」	第242号	平成15年	4月25日
	第243号	平成15年	6月25日
	第244号	平成15年	8月25日
	第245号	平成15年10月	5日
	第246号	平成15年12月	25日
	第247号	平成16年	2月25日
「都市計画報告集」No.1	(CD-ROM)	平成15年	4月25日
「都市計画論文集」No38-1	(CD-ROM)	平成15年	4月25日
「都市計画論文集」No38-2・3	(CD-ROM)	平成15年10月	25日
「都市計画論文集」No38(冊子)		平成15年10月	25日

6. 学術研究論文発表会の開催

日 時	平成15年11月22日、23日
場 所	宇都宮大学キャンパス
研究発表	158題
参加人数	416名

7. 都市計画セミナー開催

日 時	平成16年1月22日、23日
場 所	早稲田大学国際会議場
題 目	世界に通じる魅力あるまちづくり 地域の創意工夫による協働のまちづくりを目指して
参加人数	237名

8. 月例懇話会等の開催

月例懇話会	第97回	「PPPベースでの都市再生・プロジェクト開発」	平成15年	9月	4日
	第98回	「江戸の遊びと浅草のまちづくり」	平成15年	12月	4日
	第99回	「都市犯罪空間の実情と課題」	平成16年	2月	27日
見学会	第09回	「21世紀を担う世界屈指のプロジェクト・六本木ヒルズ探訪」	平成15年	4月	10日

第10回 「新たな時代へ躍進する品川を探访する」
平成15年 7月28日

9. 海外向け「ニューズレター」の発行

No 22 平成15年11月

10. 「都市計画文献リスト」の発行

平成15年版 平成15年10月

11. 「都市計画国際用語辞典」の発行

平成15年11月発行(370頁)丸善(株)より出版

12. 学会賞授与

石川賞

東急多摩田園都市における50年にわたる街づくりの実績

東京急行電鉄株式会社 代表取締役社長 上條 清文

神戸市真野地区における一連のまちづくり活動

まちづくりプランナー 宮西 悠司

論文奨励賞

荷捌き活動の実態調査にもとづく大規模商業施設の荷捌きシステムの
導入効果に関する研究

株式会社日通総合研究所研究員 岩尾 詠一郎

CVMを用いた文化政策の定量的評価

世界遺産富山県五箇山合掌造り集落の事例

一橋大学大学院教授 垣内 恵美子

地域格差是正政策とグローバル化に伴うその変容過程

日本・タイ・マレーシアにおける比較研究

東京大学先端科学技術研究センター助手 瀬田 史彦

心理的交通需要マネジメント “トラベル・フィードバック・プログラム” の交通・
環境教育としての持続的効果

社団法人北海道開発技術センター研究員 谷口 綾子

阪神・淡路大震災復興過程における住宅再建支援施策の効果と居住環境整備上の課題

東京大学先端科学技術研究センター特任助手 野澤 千絵

13. 研究調査実施

1. 防災・復興研究委員会

委員会として2回のセミナーを開催した。

第18回テーマ 「防災復興に関する国際比較研究の課題と展望」

第19回テーマ 「バークレー市における市民参加の防災まちづくり」

また、宮城県北部地震災害復興調査を実施した。

2. 21世紀学会ビジョン実現特別委員会

前年度作成の「学会21世紀ビジョンー新時代における創造と提案」にもとづき
具体化の検討を行い、その一部は実施した。

14. 学際的・国際的学术交流

第10回国際都市計画シンポジウムを開催した。

日 時 平成15年8月25～26日

場 所 札幌（北海道大学）

メインテーマ Planning、Regionalism、Coexistence

参加人員 7カ国（海外留学生を含む）70名

15. 委員会活動、支部活動

1. 受託研究調査に関して下記の委員会を設置し、実施した。

- ・ 神奈川県都市計画区域検討調査委員会
- ・ M計画委員会
- ・ 総合的、段階的なまちづくり事業の枠組みに関する調査委員会
- ・ 美しい景観を活かした地域活性化に関する基礎調査委員会
- ・ 蘇我臨海部ポスト・トリガー事業推進方策検討調査委員会

2. 中部・関西・九州・中国四国（新設）の各支部はそれぞれ総会を開催し、交流を深め、地域に応じたテーマで講演会、見学会、研究発表会等を企画し活動した。

16. 学会名簿の発行

隔年発行の学会名簿を10月に発行した。